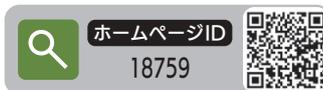


第4次碧南市食育推進計画を策定しました

問 農業水産課農政振興係 ☎95-9896

市食育推進計画は、市民が自らの食について考える習慣や食に関するあらゆる知識や食を選択する力を身につけるための取り組みなどをまとめた計画です。第3次計画に引き続き、新たに計画期間を2022年度から2026年度までとした第4次計画を策定しました。市ホームページで閲覧できます。



食育ってなに？

食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することです。

市食育推進計画の骨子

計画では目指すべき5つの基本目標を掲げています。

1. 食を通じた健康づくり
規則正しい生活習慣とバランスのとれた食生活の実践を目指すとともに食の安全の確保を図ります
2. 食を通じた豊かな心づくり
食を通じたコミュニケーションを推進し、食に感謝する心を育成します
3. 食を通じた環境にやさしい暮らしづくり
環境にやさしい食生活を実践するとともに生産段階における環境負荷の軽減を目指します
4. 食を通じた地域の活力づくり
地産地消を推進し、食文化の理解と継承を図ります
5. 食を通じた人の輪づくり
食育に関わる人材を育成するとともに食に関する情報発信を強化します



6月は食育月間です

毎年6月を「食育月間」とし、国や地方公共団体、関係団体などが協力して、食育推進運動を重点的に実施し、食育の一層の浸透を図ることとしています。期間中は、全国各地で食育をテーマとした多くの取り組みやイベントが開催されます。市では、園児対象のエプロンシアターや野菜のもぎとり体験などを行っています。



わたしたちもできる食育

食育と聞くと難しく感じるかもしれませんが、身近なところで実践できることもたくさんあります。例えば、以下のようなことから実践してみましょう。

- 朝ごはんを毎日食べる
- 食べるときはよくかんで食べる
- 健康づくりのために、適度に運動をする
- 「いただきます」「ごちそうさまでした」などの食事の挨拶を忘れないようにする
- 食べ残しをしないように心がける
- 碧南市産や愛知県産のものを購入するなど、地産地消を意識する
- あおいパークの体験農園で収穫体験をする



市の食育の取り組み

食育は、様々な分野にわたる全市的な取り組みであるとともに、多くの関係者や関係団体が一体となって取り組んでいくものです。市では、こうした食育の担い手の皆さんと連携して、今後も食育を進めてまいります。

エプロンシアター

エプロンにつけた人形などを使い、歌と踊りで食の大切さや栄養について園児に楽しく伝えています。



△市健康づくり食ボランティア協議会



△生活協同組合コープあいち

ニンジン講習会

小学生を対象に特産ニンジン「へきなん美人」を使ったニンジンゼリーを作る講座を開催しています。コロナ禍ではリモートで講座を行いました。



△輝きネット・あいちの技人、前浜ひまわり

食育紙芝居

手作りの絵本を作っている「碧い鳥」の皆さんと協力して作った紙芝居で、野菜の魅力と感謝の心を伝えます。紙芝居の一般初披露は6月18日(土)の図書館中部分館おはなし会です。



△県農村生活アドバイザー碧南地区、碧い鳥

野菜のもぎとり体験

市内の保育園・幼稚園などの園児を対象に、旬の野菜のもぎとり体験を行っています。



△農事組合法人前浜川口農業活性化組合

小学生の稲作体験

市内の小学5年生を対象に、田植えと稲刈りの体験学習を行っています。



△JAあいち中央営農部会碧南支部

第6回食育活動表彰で農林水産大臣賞を受賞

農林水産省が主催する第6回食育活動表彰の食育ボランティアの部で、日本料理小伴天・日本料理一灯を営む長田勇久さんが農林水産大臣賞を受賞しました。地元の食材・食文化の魅力と旬の大切さを食に関わる人たちとともに伝える活動が評価されました。表彰式は、6月18日(土)に常滑市のAichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で開催される第17回食育推進全国大会inあいちの開会式で行われます。

